

ななお 会議所 だより

2025 1 No.646

<https://nanao-cci.or.jp>
mail:office@nanao-cci.or.jp

七尾商工会議所 検索



七尾商工会議所 検索



たしかわ木彫 滝川千春 作「巳」

CONTENTS

P1 七尾市当初予算要望書を提出

P2-3 年頭所感

P4 青年部/N-As通信/日商簿記のご案内/
金沢税関支署七尾出張所からのお願い

令和7年度 七尾市当初予算 要望書を提出



七尾市長へ要望を提出する杉野会頭

12月16日(月)、杉野会頭が令和7年度七尾市当初予算要望書を、茶谷七尾市長・山崎七尾市議会議長に提出しました。

杉野会頭は、地域経済の基盤となる「なりわいの再構築」が最重要であり、過去のやり方にとらわれず、各々の事業者が得意とする分野で、持続可能な成長ができ、将来世代へ引き継げる新たなビジネスモデルを構築する必要性を強調し、5つの復興ポイントをあげました。

- ① なりわいの再構築
- ② 防災対策の強化
- ③ 復興の優先順位付け
- ④ 若者の意見の積極的採用
- ⑤ 七尾市のリーダーシップ

引き続き、小川専務理事より七尾商工会議所としての「地域経済復興指針～巻き興せ小さな渦から大きな渦へ～」を説明し、復興指針への支援・協力を求めました。

復興指針の中心は、「指針1：経営者が挑戦する 指針2：関係人口を復興の力に 指針3：能登の個性をつなぐ」の3つです。

茶谷市長からは、「創造的復興が非常に大事なので、行政としてどういうことができるか、皆さんと対話しながら、しっかりと受け止め、どういうことができるかを考えながら、前にむかって進めていきたい」と返答がありました。



市議会への要望提出の様子

要望項目は以下のとおりです。

- 1 七尾商工会議所地域経済復興指針
- 2 和倉温泉創造的復興ビジョン
 - (1) 和倉温泉の早期復興のための官民連携体制づくり
 - (2) 和倉温泉プラン実現に向けた資金支援
 - (3) 和倉温泉の空き家、空き地の活用対策
- 3 一本杉通り復興プランへの支援
 - (1) 明治から令和の家並みが息づく町
 - (2) チャレンジを応援して目的地となる“お店”を増やす
 - (3) まちの「復興」を外にひらく
- 4 雇用調整助成金延長への支援
- 5 創業者・起業家に対する支援策の充実・強化
 - (1) 七尾市創業支援補助金・スタートアップ助成金等の創設
 - (2) 創業支援事業の強化・充実



「能登復幸元年」 能登の希望を創り出そう

七尾商工会議所 会頭

杉野 哲也 (すぎの てつや)

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、昨年1月1日に発災した「令和6年能登半島地震」により、今までの価値観が大きく変わる中で、事業運営に全力で取り組む一年であったことと思います。変わらず事業を行えていることは皆さまのご尽力の賜物であり、共に新しい年をお迎えできることを心よりお喜び申し上げます。

喜ぶべき新年の始まりですが、やはりこのたびの地震で亡くなられた方、被災された方を思うと晴れやかな気持ちになれません。大きな地震により多くの被害が出ていますが、当商工会議所は地震発生直後から迅速に被害状況を把握し、震災関連情報の共有に努力して参りました。また、同時に、全国からの温かいメッセージや多くの支援を受け取って参りました。今後、私たちは、復興というひとつの目標に向かって、集中力と団結力を発揮し、経験から知見を生み出し、復興と成長の力に変えていかなければなりません。

人口減少と高齢化が進むこの地域には多くの課題があります。その中で震災後、七尾商工会議所の会員数は1606社（者）に伸びました。それは「なりわい再建」を進めるため、補助金申請のサポートや資金調達支援、その他支援制度のアドバイスやヒアリングを期待されている結果だと受け止めています。未だ3割の事業者が通常営業に戻れず、再開時期未定の事業者もいる厳しい環境の中で、各社が強いビジネスへの事業再構築を行うことが地域経済の復興には不可欠です。会員の皆さまには、もっと上手く当商工会議所を活用し、経営力を強化し、この大きな困難を乗り越えてほしいと思っています。

七尾商工会議所は、現在掲げているビジョンをこの災害に沿う形で「地域経済復興指針～巻き興せ小さな

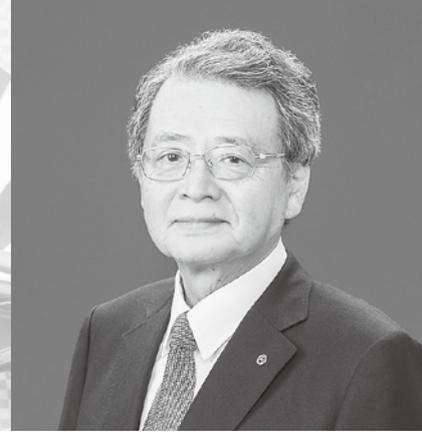
渦から大きな渦へ～」と定め意義ある事業を進めていく考えです。私たちが思い描く未来とはどのようなものでしょう。これから30年かけて進むであつたらう未来は、この地震により明らかに早まりました。この地域が抱える課題の解決は急務です。私たち一人ひとりでは微力ですが、集まれば大きな力になる。能登一丸となった新しい能登の形を創り出すためにも、継続的なコミュニケーションを行い、情報を共有し、新しい視点や気づきから、経済人として能登の希望を創っていかなければなりません。これは復興していくための大きな挑戦です。今年を「能登復幸元年」と位置付けて、新しいビジネスと地域経済のあり方を示すことで、未来への希望を創り出していきましょう。

結びにあたり、今年の干支は「乙巳（きのと・み）」です。「巳」は蛇のイメージから脱皮し強く成長するその生命力から「再生と変化」を意味すると云われます。皆さまにおかれましては、この変化の激しい環境の中でも更なる事業発展にご奮励されますことを心からご祈念申し上げますとともに、七尾商工会議所の事業運営に対しまして、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



新たな成長への飛躍の年に

日本商工会議所 会頭
小林 健 (こばやし けん)



明けましておめでとうございます。

2025年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は内外ともに不透明かつ混迷の度合いが深まった1年でした。世界ではロシアによるウクライナ侵略の長期化に加え、中東情勢の悪化など、地政学的リスクが拡大しました。また、経済面では米国経済が堅調さを維持する一方で、中国経済の停滞が懸念される年になりました。加えて、昨年は主要国で選挙が相次ぎ、米国では4年ぶりにトランプ氏が次期大統領に就任する結果となり、保護主義や自国第一主義の台頭に対する懸念が再び高まっています。

国内に目を転じますと、1月の能登半島地震や9月の奥能登豪雨といった痛ましい災害に見舞われた1年でありました。また、秋の衆院選では与党が30年ぶりに過半数を大きく下回り、少数与党へ転じるなど政治的変動が生じる一方で、経済では、歴史的円安や物価高が続く中、設備投資は好調で日経平均株価も史上初の4万円台を記録しました。日本銀行はマイナス金利の解除に踏み切るなど、金融政策にも大きな転換点を訪れました。特に昨年は「賃上げ」をテーマとした1年でもあり、中小企業の賃上げ率も3%台半ばに達するなど、物価と賃金の好循環に向けた大きな一歩を踏み出した1年であったと総括できます。企業の自助努力とともに、官民を挙げた価格転嫁の取り組みが効果を示した結果ではありますが、賃上げを行った中小企業の約6割が収益改善を伴わない中で、人手確保のための防衛的賃上げを迫られたことも事実です。賃上げのモメンタムをいかに持続可能な形に転換するかが、停滞から成長のステージに向けた今年の大きな課題となります。

【成長の両輪は中小企業の強化と地方創生】

日本は経済立国であり、経済成長なくして将来はありません。デフレ脱却を確実にし、成長型経済への転換を進めるためには、GDPの6割を占める個人消費の拡大が不可欠です。その実現は、全企業数の99.7%、就業人口の約7割、地方部では約9割を担う中小企業・小規模事業者の生産性向上と持続的な賃上げにかかっているといても過言ではありません。

成長の両輪の一つは中小企業であり、そのデジタル化、省力化投資を含めた設備投資、技術革新、知的財産の活用・保護といった生産性向上への不断の努力と自己変革によって付加価値を高め、賃上げ原資を生み出す必要があります。われわれ商工会議所は本年もこうした前向きな挑戦を続ける中小企業を全力で支援してまいります。また、労務費を含む価格転嫁対策のさらなる推進やBtoCでは企業側の「値を上げる勇氣」も必要です。消費者にも「良いサービス、良いモノには値が付く」という認識を持っていただき、国民全体のデフレマインドを払拭することも今年の大きなテーマでありますので、消費者意識の改革とともに経済環境の改善を目指していききたいと思います。

また、成長の両輪のもう一つは「地方創生」です。地方の発展なくして日本の再生はありません。政府、地方自治体、民間が三位一体となり、地域への人材・投資の呼び込みや「稼ぐ産業」の育成、インフラ整備などを通じて地域の経済循環を強化し、地域の強みと潜在力、いわゆる「地域力」を引き上げるべく全力を傾ける年にしなくてはなりません。地域の経済インフラを担う中小企業および小規模事業者の強化は、地方創生の取り組みとも表裏一体です。政府・地方自治体には両者を成長の両輪と位置づけ、地域ごとの特性を踏まえた成長戦略の策定と実行を強く求めたいと思いますし、われわれ全国515の商工会議所も地域経済の再生・活性化の先導役として、さらに活動を強化できる1年にしなくてはなりません。

【大阪・関西万博の成功を大きな成長の弾みに】

本年4月には大阪・関西万博が開幕いたします。停滞から成長への転換点にあるタイミングでの開催は、象徴的かつ歓迎すべきことであります。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする20年ぶりの万博開催が、新たな未来をつくる起爆剤となるよう、全国の商工会議所一丸となって盛り上げてまいりましょう。わが国全体の未来に向けて成長に弾みのつく万博となることを切に願い、皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。

青年部 12月定例会

七尾未来創造会議 ～共に創造する明るい未来に向けて～

12月13日(金)、茶谷義隆七尾市長をお招きし、12月定例会を番伊にて開催しました。

茶谷市長は、地震発生直後からの市や地域住民の迅速な対応、そして現在進められている復旧・復興事業について具体的な事例を交えて説明されました。特に地域コミュニティの重要性や、復旧と復興を並行して進めることの必要性など、今後の七尾市のあり方について深く考察する機会となりました。

最後に茶谷市長は「今後も皆様とも連携し、復興に向けて進んでいきたいと思っておりますので、青年部の皆様のお力をお貸しいただき、復興に向けて共に頑張りましょう」と述べ、講演を締めくくりました。

今回の講演会は、活発な意見が出され有意義な12月定例会となりました。



茶谷市長講演の様子

N-As(エヌアス)通信

MADEFROM2025東京丸の内展 ～能登復興プロジェクト～

12月4日(水)～12月7日(土)、KITTE丸の内にてMADEFROM2025東京・丸の内展が開催され、北陸3県「石川県・福井県・富山県」の企業が出展しました。七尾市内からは4社が出展し、4日間の来場者数が1万3000人を超えるなど大盛況を収めました。

今回の展示会では、VRゴーグルを用いたモノづくり現場の3D空間を散策するXR体験も行われ、来場者は、モノづくり産地に行かなければ見ることのできない現地の工場や店舗など、モノづくりのリアルな現場も体験することができました。

物産展に参加した企業は、「この物産展で能登の物産を購入してもらっただけではなく、実際に能登に来てもらえるように能登の良さを発信し続けていきたい」と述べました。

と述べました。



第169回日商簿記検定試験 (2・3級)のご案内

- 試験日 令和7年2月23日(日)
- 場所 七尾商工会議所
- 受験料 2級：5,500円
3級：3,300円

【申込み締切り】

- ①窓口・郵便 令和7年1月24日(金)
- ②ネット 令和7年1月26日(日)

お問合せ | 七尾商工会議所 簿記検定担当
TEL 0767-54-8888



税関
Japan Customs

金沢税関支署七尾出張所から 情報提供のお願い

税関では、安全・安心な社会の実現に向けて「経済安全保障の確保」に取り組んでいます。

軍事転用のおそれのある製品や技術の不正輸出の可能性に気づいたら、税関密輸ダイヤル(0120-461-961)又は税関HPの情報提供サイトまで情報提供をお願いします。

例えば、

- こんな精密機械を何に使うのだろうか？
- 貨物の内容と仕向先が不釣り合いじゃないかな？
- 同時期に複数の輸出者が同一製品を同一の仕向先に輸出？
- データ保存されている記録媒体(USBメモリなど)を輸出？

など。詳細はQRコード(経済安保)からご確認ください。

金沢税関支署
七尾出張所

TEL0767-52-0689



経済安保



税関HP

